



ホームページ  
中野あきと

# みどりと清流

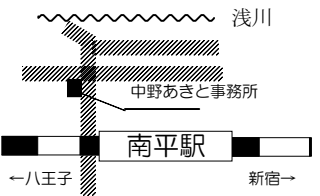
日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)  
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2018年  
7・8月号  
合併号

第189号

法律・生活相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



## 日本共産党市議団が日野市に申し入れ ブロック塀など通学路の安全対策

日本共産党市議団は6月26日、ブロック塀などの通学路の安全について日野市に申し入れを行いました。内容は、①学校ブロック塀など、工作物の早急な安全点検の実施と結果の公表。②耐震性が不十分なブロック塀が発見された場合は早急に対策を講じる。③通学路の安全点検の実施と、その結果を学校に情報提供する。違法状態のブロック塀については、所有者に改善を求めるとともに、対策が講じられるまで通学路を変更するなど安全を確保する。④ブロック塀の撤去促進の補助制度の創設。生け垣への転換促進などです。

日野市は6月29日、市立小中学校のブロック塀の調査点検結果を公表。それによると、塀の高さが2.2mを超えるブロック塀がある6小については、夏休み中に工事の予定。その他、1.2mを超え2.2m以下の塀がある10校(1小、4小、潤徳小、滝合小、8小、7小、2中、七生中、4中、大坂上中)については、今年度中に工事を行う方向です。日本共産党市議団は7月4日、再度の申し入れを行い、早急に、不適合となっている11校のブロック塀の撤去・対応を副市長に求めました。

◆中野あきと・6月市議会一般質問  
日野市の公共交通問題を考える

本格的な高齢化社会を迎え、ミニバスやワゴンタクシーなど、公共交通の問題は市民の切実な要求となっています。

日野市では、今月(6月)に公共交通会議が開かれ、本格的な検討が開始されました。そして来年4月には、新地域公共交通総合連携計画が策定され、

以降、実施に向けて具体化される運びとなりました。

6月市議会の中で日本共産党の中野あきと市議は、ミニバス路線の増発、乗り継ぎの解消、ワゴンタクシーの土日運行や終発時間の延長。交通不便地域の要望実現など、新たな公共交通網の検討に当たって、土台として据えるべき観点を提起しながら質問を行いました。

詳細は、別紙「特集号」に掲載しましたのでご覧ください。(傍聴記は本号2面に掲載)



南平駅前の署名の光景

ミニバスやワゴンタクシーなどの充実を求めて南平駅前でする「日野の公共交通を充実させる会」は6月30日午後、中野あきと市議と共に南平駅前で、日野市長に提出する要望書に添える署名の呼びかけをおこないました。

### 短信

「アンタは度胸があるね。そんな新聞を広げて。この沿線では珍しいよ」と、高齢の男性がちゃかすように言う。そんな新聞と言われムキになり「いまだき『赤旗』を珍しいなんて。貴方の方が珍しい」と切り返した。若かった頃、通勤途上の横浜線の車内での話だ▼「お前さんたちは新聞拡張同好会か」と会社寄りの労組幹部に揶揄されたこともある。同好会とは恐れ入るが、それは読んで頂く方が増えれば増えるだけ、政治を変えたいという力が広がるの思いからだ▼労組の役員時代。交渉や会議で家を空け、「赤旗」を読めない日もあった。メディアが流すニュースを、どう報道しているのか。今のように簡単に検索できる時代ではなかった。あるとき旅先の飯田線の車内で、隣の席の男性が広げる「赤旗」をつい覗き見した。降り際に渡された「赤旗」。宿の灯の下でじっくり読んだ▼年をとると早起きは苦にならない。一人で朝食を済ませ一時間ほど、新聞を読む時間に充てている。まず商業紙に目を通し、それから「赤旗」を読むスタイルは今でも変わらない▼おめでどう。7月から「日刊赤旗」の電子版がスタート。「もりかけ」でも、ならはのスクープをとばす「しんぶん赤旗」。スマホやタブレットなどで、より広い方々にご覧いただければと願う。(K)

# 「南平・街ウオッチング」で調査した危険箇所 日野市に改善を申し入れ

6月27日、「南平・街ウオッチング」で調査した危険箇所（「みどりと清流」6月号で報告）の要望書を、中野あきと市議会議員と7人の住民で日野市に提出しました。

当日、日野市は「道路課長」と「みどりと清流課長」が対応しました。

## ①用水にガードレールを

◆7丁目22-9付近

【回答】

日野市では、人が水に親しむという視点から、用水は基本的に開渠（かいきよ）にするという方針をもっている。ただし、事故が発生した場合は対応することになっている。

指摘の場所については、フレックスクスコーン（根元が柔軟素材でできている防護柵のようなもの）を設置し、注意を促していききたい。

## ②U字溝に蓋を

◆7丁目26-4

（スナック「ぼ・ぴーぷ」付近）

【回答】

U字溝は、住宅の入り口などは蓋をしているが、それ以外はU字溝内の清掃や道路に降った雨をU字溝に流すため、基本的

には開渠にしている。

指摘されている場所の、道路の角の部分については蓋をするのが難しいので、フレックスクスコーンを設置して注意を促していききたい。

## ③擁壁の柵をもっと高く

◆2丁目61-1付近

【回答】

ここは民有地であり、現状では日野市としてはどうすること

## ④道路の整地を

◆9丁目27-28付近

【回答】

他の道路舗装と一緒に対応したいので少し時間を。

必ずしも満足という結果ではありませんでしたが、危険箇所については今後も調査を行い、今回の箇所も含めて、さらなる改善を粘り強く取り組んでいきたいと考えます。

中野あきと事務所

もできない。  
検討課題とさせて頂きたい。

## 《ちよつとひと息》

### 「おしゃもじさま」の風習 東豊田2丁目

医療が発達していなかった時代のことでしょうね、石神の一種で「おしゃもじさま」という風習が日野にもありました。風邪や百日咳にかかると「おしゃもじさま」から「おしゃもじ」を借りて来て、病人のご飯をよそったり、のどをなでたそうです。病気が治ると、もう1枚新しい「おしゃもじ」を増やして返したということです。

日野市には2カ所あり、万願寺とこの写真の東豊田2丁目、日野ふたば幼稚園の近くの家の庭の道路ぞいにあります。



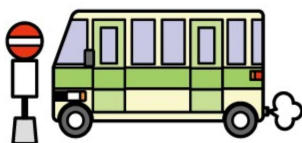
「おしゃもじ」が2枚供えてあります。小さい祠（ほこら）なので注意しないと見過ごしてしまいます。

写真は、東豊田2丁目の「おしゃもじさま」（南平 山本彰三）

## 平山公社住宅の老人会より提出された ミニバス平山循環路線の充実を求める請願

「すでにこの請願で言われていることは、日野市もつかんでいる」「全市的な見直し作業が行われている段階で、この地域のことだけ取り上げ対応することはふさわしくない」

6月市議会に、平山公社住宅の老人会より提出された『ミニバス平山循環路線の充実』をもとめる請願に、こんな理由で反対する自民や公明などの議員。日野市が前向きに検討していることはすでに明らか。後押しこそすれ逆に背を向けるなど見識が疑われます。請願に込められた増便、市立病院への直通、豊田3丁目のバス停復活へ、更に声を上げていきましょう。



## 6月市議会の中野質問を傍聴して

### 公共交通の役割よくわかった

南平5丁目 石原 弘

中野あきと市議の道理を尽くした質問に、与党席からのヤジもなく、緊迫した1時間の質問だった。私の住む南平5丁目は、狭い道路が多く公共交通の空白地域だ。中野市議は、車両制限のある道路にも「待避所」を設けるなどして、ミニバスやワゴンタクシーの乗り入れが可能であることを、他市区の例を示しながら質問した。

人々が自由に移動する権利を保障するために、公共交通の果たす役割の大切さがよくわかる質問だった。

### こんな人が市議会にいてよかった

平山4丁目 加藤寿雄

「公共交通問題は市民の切実な要求、超党派で積極的に前にすすめるべき」と冒頭で述べ、中野市議の質問が始まった。市民の願いに誠実に応えることが議会と行政の本分という信念。綿密な調査に基づく指摘。この問題は憲法が保障する交通移動権という見識に感動。中野市議再選の喜びを再確認した傍聴だった。

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円

## 《2018年8月の無料法律相談》

市役所6階共産党控室

午後1時～3時 8月9日（木）

※予約が必要です。

中野あきと事務所 ☎042-599-3350

◎本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

